

「山形おきたま冬のあった回廊」を開催します！



置賜3市5町では、この12月から2月までの3カ月間、置賜ならではの冬の食材、温泉、雪あかり祭りなど「あったか」な置賜の冬をPRし、観光誘客の強化をはかるため、新たな冬季観光キャンペーンを実施いたします。

置賜の冬のイベントや、白鷹の「隠れ蕎麦屋」「寒風干し鮎」をはじめ、置賜各地の旬の味覚などを、県内外に集中的にPRします。

◆キャンペーン名

「山形おきたま 冬のあった回廊
～あたたかな食と温泉でおもてなしします～」

◆キャンペーン期間

12月1日（水）～2月28日（月）まで

- 置賜の冬の食・イベント・温泉など、魅力満載のガイドブックを作成。道の駅など主な観光施設に設置してありますので、ぜひご覧ください。

※12月開催のキャンペーンイベント「列車に乗ってサンタクロースに会いに行こう！」の詳細は、19ページに掲載しています。

■問い合わせ 山形おきたま観光協議会事務局（置賜総合支庁観光振興室内／☎0238-26-6046）

ふるさと白鷹を積極的にPR

首都圏白鷹会開催

11月27日、首都圏白鷹会第32回総会が東京、上野精養軒で開催され、総勢250人が参加しました。

特に今回は中山熊野神社獅子舞が披露され、中山独特の獅子舞を楽しんでいただきました。また、「おらだのふるさと」CDや白鷹花嫁劇場DVD、おみ漬や青菜漬、惣菜や菊、もち、ゆべしやまんじゅうなどなつかしさ一杯の物産販売も行い、ふるさとの様子などに話が弾みました。来年は鮎まつりに参加しようという企画が行われるようで。

首都圏白鷹会会員の皆さまには、いつまでもふるさと白鷹町の応援団として、ご支援いただければと思います。



ふるさと話で売れ行きも好調!!

仙台しらたか会設立&交流

10月3日、仙台しらたか会は、88人の仙台圏域に在住のかたがたのご賛同をいただき設立されました。

この会は町出身者に限らず、訪ねてみたい・交流してみたいという、白鷹町に興味のあるかたに広く参加をいただいています。

12月4日から5日にかけて、本年度事業である「白鷹交流訪問」が実施され、18人の会員が白鷹町を訪問、最上川のヤナ場を見学後、パレス松風で町内関係者との交流を深めました。翌日は、深山和紙センター、どりいむ農園を巡り、新そばを食べ白鷹の晩秋を満喫していただきました。今後さらに活発な交流に発展できるよう期待したいと思います。



これからの交流に乾杯（パレス松風）